

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月24日  
北陸信越運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果		
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
須坂市地域公共交通会議	長電バス㈱	<p>すざか市民バス</p> <p>運行系統名: 仙仁線、米子線、明徳団地線、北相之島線、おはようライナー仙仁豊丘・おかえりライナー、おはようライナー米子明徳</p> <p>※車両減価償却費等国庫補助金を活用し車両を導入</p>	<p>・市内の公共交通を紹介したポスター・リーフレット・時刻表等を公共施設、商業施設等へ広く配布し広報に努めた。各バス停へのKURURUカード案内看板の設置や、随時HP・SNSを活用し広報を強化した。</p> <p>・長野電鉄のこども無料デーに合わせ、バスこども無料デーを夏・冬2回実施し、さらなる利用促進を図った。</p> <p>・市内観光施設にバスを設置しイベントを開催、公共交通のイメージアップやバス利用促進を図った。</p> <p>・バス停や拠点へのバスロケを継続して設置稼働し、利用環境のさらなる改善を図った。</p> <p>・バスICカードを地域連携ICカードにリニューアルし、利便性向上を図った。</p> <p>・ノンステップバスを1台更新導入し、利便性を向上を図った。</p>	A	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	B	<p>①すざか市民バス 年間利用者数 目標: 95,000人 実績: 86,248人</p> <p>②すざか市民バスのICカード利用割合 目標: 42% 実績: 40%</p> <p>③すざか市民バス・すざか乗合タクシー収支差(合計) 目標▲57,206千円 実績: ▲71,052千円</p> <p>ICカード切り替えや運行内容の変更により数値達成が困難となる部分があったが、引き続き改善を図る必要がある。</p>	<p>利用者増、収支の改善等目標の達成を図るため以下の項目を計画実施する。</p> <p>・ICカードリニューアルにより、一時的に切替による利用者減がみられたが、ICカードリニューアルによる利便性向上について、さらなる周知を図り利用者の定着を図る。</p> <p>・地域公共交通計画に基づくバス路線の一部再編とダイヤの見直しにより、利便性を向上させ、利用者数の増加を図る。</p> <p>・メインユーザーである通勤・通学の利用者、昼間の通院や買い物利用者に対し、チャシ・ポスター・HP・SNS等広報活動を今後も継続的に行い、利用者数の増加を目指す。</p> <p>・バス利用促進に関する公共交通企画内容を改良させて、さらなる利用促進を図る。</p> <p>・現在の利用状況の維持とバス利用環境の改善を図るため、バスロケーションシステムやバス待合環境の維持改良を継続実施する。</p>	<p>協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。</p>

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
須坂市地域公共交通会議	北信タクシー(株) つばめ長電タクシー(株)	すざか乗合タクシー 日野・豊洲地域及び福島・中島町・松川町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行地域の区長に利用状況等を説明し、地域での利用促進及び広報について連携を図った。</li> <li>・利用促進策として、運行区域の地区に対し、利用方法を掲載したチラシを全戸配布した。</li> <li>・停留所の点検を実施し、分かりやすい案内板やベンチの設置を進めた。</li> <li>・運行事業者による業務負担を改善し、運行の持続性向上を図った。</li> </ul>	A 計画通り事業は適切に実施された。	C <ul style="list-style-type: none"> <li>①すざか乗合タクシー 年間利用者数 目標:2,100人 実績:1,403人</li> <li>②すざか市民バス・すざか乗合タクシー収支差(合計) 目標▲57,206千円 実績:▲71,052千円</li> </ul> 従前多く利用していた特定の利用登録者の利用が無くなり、利用の減少がみられた。引き続き広く利用促進を図る必要がある。	目標の達成を図るため以下の項目を計画実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな利用登録者の獲得を目指し、各媒体を活用した乗合タクシーの周知活動を継続的に行い、認知度を高めるよう努める。</li> <li>・運行エリアでの乗合タクシー乗り方教室等を実施する機会を検討し、広報の強化を図りながら市民が利用するきっかけを作っていく。</li> <li>・利用者からの要望で新たに設置した停留所について、利用増による定着がみられた。今後も継続的に利用者の意見を取り入れる体制を整え、利用環境などの改善を図っていく。</li> </ul>	協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。